

2. 火山の概況

(平成 16 年 9 月 30 日 ~ 平成 16 年 10 月 6 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では火口の高温状態が続いている。

浅間山では 1 日にごく小規模な噴火があった。火山活動度レベル (以下レベルと記載) は 3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いている。レベルは 2。

霧島山の御鉢の噴気活動はやや活発な状態が続いている。

薩摩硫黄島及び諏訪之瀬島では噴火があった。

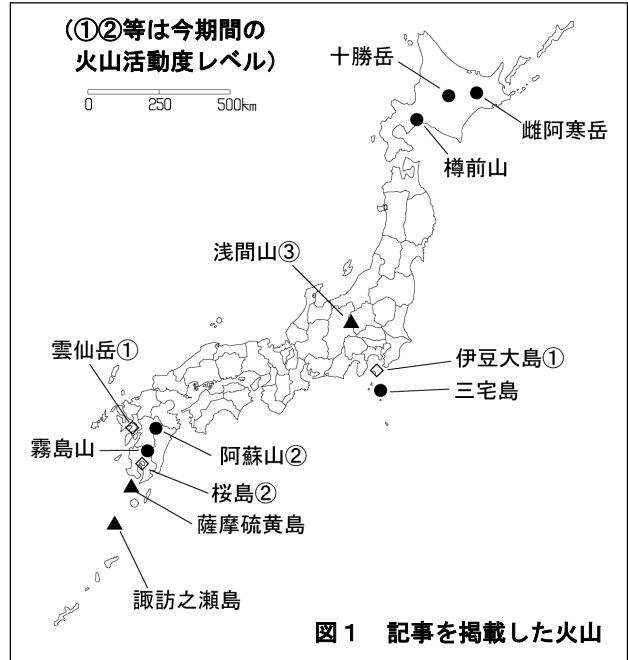


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	福徳岡ノ場	霧島山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
41	9/30-10/6	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●		●	▲	▲
40	9/23- 9/29	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇				●		●	▲	▲
39	9/16- 9/22	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇				●	●	●		
38	9/9- 9/15	③	▲	①	◇	②	●	①	◇	②	◇				●		●		
37	9/2- 9/8	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◆				●		●		

注 1 記号の意味

- ▲: 噴火した火山
- : 活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に变化があった火山
- ◆: 前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇: その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字: 火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

1 日に実施した調査観測では、ポンマチネシリ 96-1 火口の温度は約 340°C で高温の状態が続いていた。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていると推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上概ね 200m で推移した。

● 樽前山 [熱]

1 日に実施した調査観測では、A 火口の温度は約 600°C、B 噴気孔群の温度は約 420°C で高温の状態が続いていた。

▲ 浅間山 [噴火・火山ガス・地震・地殻変動・火映] レベル 3 (山頂火口で小～中噴火が発生)

1 日の 11 時 18 分と 17 時 12 分にごく小規模な噴火が発生した。

1 日、長野県警の協力を得て、気象庁と東京大学が共同で行ったヘリコプターによる上空からの火口観測によると、火口底の高さは 9 月 1 日の噴火前よりもやや上昇し、山頂からの深さは約 190m となっていた (噴火前は最深点で約 250m)。また、火口底北東側に直径約 70m、深さ約 40m のくぼみが確認され、その中心部には赤熱部が見られた。これは、9 月 16 日、18 日に国土地理院と気象庁により火口底に確認されたドーム状の溶岩の一部が、9 月 23 日、29 日の中爆発等の噴火で吹き飛ばされた状態と考え

られる。赤外カメラによると、火口底の最高温度は517℃と高温であった。

1日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり1,500～2,400トンと多い状態であった(前回(9月13日)は1,700～3,100トン)。

火山性地震は9月23日以降多い状態が続き、今期間は1日あたり71～155回観測された。火山性微動も1日あたり2～19回と多かった。

6日07時頃から、9月1日、23日及び29日の中爆発発生前に見られたと同様の、傾斜計(山頂の北北東約2.5kmに設置)に山頂直下が膨らんだことを示すと思われるやや急な山上がりの変化がみられた。同時に地震の回数も増えたが噴火は観測されず、同日11時頃には元のレベルに戻った。雲のため噴煙の状況は確認できなかった。

9月30日～10月2日夜間に、山麓に設置した高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映現象が観測され、6日夜には軽井沢測候所(山頂から南約8km)から肉眼でも確認された。

◇ 伊豆大島 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データには特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・地震]

白色噴煙は山頂火口から連続的に噴出しており、最高で火口縁上500m上がった。振幅の小さいやや低周波の地震は1日あたり5～36回観測された。

● 阿蘇山 [熱・噴湯現象・微動] レベル2 (やや活発な火山活動)

30日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色及び緑色で、量は約8割、表面温度の最高は61℃であった(前期間は66℃)。湯だまりの中央部及び西側で弱い噴湯現象があったが、土砂噴出の発生はなかった。

噴煙は白色で、噴煙の高さの最高は火口縁上400m(前期間600m)であった。

5月13日から継続していた火山性連続微動は9月29日(期間外)16時32分まで継続した。その後は時々継続時間の短い微動が発生した。孤立型微動の発生回数は今期間564回で前期間(272回)より増加した。地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1 (静穏な火山活動)

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発な状態が続いている。1日、2日及び6日に時々噴気が監視カメラで観測され、その最高は火口縁上300mであった。

◇ 桜島 レベル2 (比較的静穏な噴火活動)

期間中、噴火は発生しなかった(前期間もなし)。噴煙活動も低調で、鹿児島地方気象台(南岳の西南西約11km)で降灰は観測されなかった(前期間もなし)。

▲ 薩摩硫黄島 [噴火・降灰]

10月1日に噴火があり、13時10分に監視カメラ(硫黄岳の西南西約3kmに設置)で降灰を確認した。また、三島村役場硫黄島出張所によると、4日及び5日の朝に集落(硫黄岳の西南西約3km)で少量の降灰があった。

▲ 諏訪之瀬島 [噴火]

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、5日に少量の火山灰を含む噴煙が火口縁上700mの高さに上がっているのが確認された。期間中、集落(御岳の南南西約4km)で降灰はなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第64号	30日 10:00	29日15時～30日09時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第65号	30日 16:00	30日00時～15時の活動状況（噴火はなし）。レベルは3。
	火山観測情報第66号	1日 10:00	30日15時～1日09時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い、夜間微弱な火映を観測）。レベルは3。
	火山観測情報第67号	1日 16:00	1日00時～15時の活動状況（11時18分にごく小規模な噴火発生、地震やや多い）。上空からの火口観測結果。レベルは3。
	火山観測情報第68号	2日 10:00	1日15時～2日09時の活動状況（1日17時12分にごく小規模な噴火発生、地震、微動共にやや多い、夜間微弱な火映を観測）。レベルは3。
	火山観測情報第69号	2日 16:00	2日00時～15時の活動状況（噴火はなし、地震やや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第70号	3日 10:00	2日15時～3日09時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第71号	3日 16:00	3日00～15時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第72号	4日 10:00	3日15時～4日09時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第73号	4日 16:00	4日00～15時の活動状況（噴火はなし、地震、微動やや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第74号	5日 10:00	4日15時～5日09時の活動状況（噴火はなし、地震、微動やや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第75号	5日 16:00	5日00～15時の活動状況（噴火はなし、地震、微動やや多い）。レベルは3。
	火山観測情報第76号	6日 09:40	5日15時～6日09時の活動状況（噴火はなし、08時頃から地震やや増加、07時頃から山上がりのやや大きな傾斜変動あり、未明に微弱な火映を観測）。レベルは3。
	火山観測情報第77号	6日 13:45	6日00～13時の活動状況（噴火はなし、11時頃から傾斜変動が元に戻り地震も減少）。レベルは3。
火山観測情報第78号	6日 16:00	6日00～15時の活動状況（噴火はなし、地震、微動共にやや多い）。レベルは3。	
三宅島	火山観測情報第545号 ↓（1日2回発表） 火山観測情報第558号	30日 09:30 ↓ 6日 16:30	活動経過ほか（噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想）。
阿蘇山	火山観測情報第48号	1日 11:10	火山活動は引き続きやや活発（湯だまり量約8割、噴湯現象あり、土砂噴出なし、連続微動29日17時頃から振幅減少）。レベルは2。